

■森ノ宮医療大学保健医療学部 臨床工学科カリキュラムマップ

区分					卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）					
					D P ①	D P ②	D P ③	D P ④		
<p>ディプロマポリシー (DP：学位授与方針)</p>					<p>●臨床工学科の方針</p> <p>臨床工学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（臨床工学）の学位が与えられます。これは臨床工学技士国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。</p> <p>●4つのディプロマ・ポリシー</p> <p>①精度の高い専門的知識と専門技術 地域社会や医療現場等でのチームにおける臨床工学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で臨床工学技士としての知識力と技術力を発揮することができます。</p> <p>②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができます。</p> <p>③豊かな人間力 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。</p> <p>④主体的問題解決能力 臨床工学技士に相応しい高い専門性と研究能力を備え、健康に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、問題を解決することができます。</p>					
区分	授業科目	配 次 年	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
教養科目群	科学的 思考	基礎ゼミナール	1前	2	必修 8 単 位 + 選 択 4 単 位 以 上		○		○	
		物理学	1前	2				○		
		生物学	1前	2				○		
		化学	1前	2				○		
		情報処理	1前	2				○		
		統計学	1後	2				○		
	人間 理解 と 社会	心理学	1前	2					○	
		生命倫理学	1後	2					○	
		哲学	2前	2					○	
		社会福祉学	1前	2					○	
		日本国憲法	1後	2					○	
		東洋史概説	1後	2					○	
	語学	西洋史概説	1後	2					○	
		英語Ⅰ(初級)	1前	2				○		
		英語Ⅱ(中級)	1後	2				○		
		英会話	2前	2				○		
		医学英語	2後	2				○		
基礎英語演習		2前	2			○				
学部 共通 科目 群	保健 医療	応用英語演習	2後	2			○			
		スポーツ健康科学演習	1後	2			○			
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前	2			○			
		健康管理学Ⅰ	1後	2			○			
		健康管理学Ⅱ	2後	2			○			
		チーム医療とコミュニケーション	2後	2			○			
		栄養学	1後	2			○			
		身体運動科学	3後	2			○			
		東洋医療概論	3前	2			○			
		統合医療概論	3後	2			○			
		IPW論	3前	1			○		○	

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●臨床工学科の方針

臨床工学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（臨床工学）の学位が与えられます。これは臨床工学技士国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術
地域社会や医療現場等でのチームにおける臨床工学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で臨床工学技士としての知識力と技術力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力
チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができます。

③豊かな人間力
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力
臨床工学技士に相応しい高い専門性と研究能力を備え、健康に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、問題を解決することができます。

区分	授業科目	配 次 年	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学科 専門科目群	人体の 機能 構造 及び	医学概論	1前	1			○		
		公衆衛生学	1後	2			○		
		人体の構造Ⅰ	1前	2			○	○	
		人体の構造Ⅱ	1後	1			○	○	
		人体の機能Ⅰ	1前	2			○	○	
		人体の機能Ⅱ	1後	1			○	○	
	臨床 工学 に 必要 な 医 学 的 基 礎	生化学	1前	2			○	○	
		病理学	2前	2			○	○	
		免疫学	2前	2			○	○	
		薬理学	2後	2			○	○	
		看護学概論	2後	1			○	○	
		基礎医学実習	2後	1			○	○	
	臨床 工学 に 必要 な 理 工 学 的 基 礎	医用工学	1前	2			○		
		数学演習	1後	1			○		
		応用数学	2前	2			○		
		応用物理学	2前	1			○		
		応用化学	2前	1			○		
		電気工学Ⅰ	1後	2			○		
		電気工学Ⅱ	1後	2			○		
		電気工学実習	2前	1			○		○
		電子工学Ⅰ	2前	2			○		
		電子工学Ⅱ	2前	2			○		
	情 報 必 要 な 生 命 医 学 と 療 育 の 基 礎	情報処理工学	2前	2			○		
		医療統計学	2前	2			○		
		システム制御工学	2前	2			○		
		情報処理・システム制御工学実習	2後	1			○		○

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●臨床工学科の方針

臨床工学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（臨床工学）の学位が与えられます。これは臨床工学技士国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術
地域社会や医療現場等でのチームにおける臨床工学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で臨床工学技士としての知識力と技術力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力
チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができます。

③豊かな人間力
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力
臨床工学技士に相応しい高い専門性と研究能力を備え、健康に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学科専門科目群	医用生体工学	生体物性工学	2後	2		○			
		生体材料工学	2後	2		○			
		バイオメカニクス	2後	2		○			
		バイオレオロジー	3前		1	○			
		計測工学	3前	1		○			
		生体情報処理工学	2後		2	○			
	医用機器学	医用機器学概論	2後	2		○			
		生体計測装置学	3前	2		○			
		生体計測装置学実習	3前	1		○			○
		医用治療機器学	3前	2		○			
		医用治療機器学実習	3前	1		○			○
		画像診断装置学	2後		2	○			
	生体機能代行装置学	体外循環装置学	2後	1		○			
		体外循環療法学	3前	2		○			
		体外循環実習	3後	1		○			○
		血液浄化装置学	2後	1		○			
		血液浄化療法学	3前	2		○			
		血液浄化実習	3後	1		○			○
		人工呼吸装置学	2後	1		○			
		人工呼吸療法学	3前	2		○			
		人工呼吸実習	3後	1		○			○
		人体機能補助装置学	2後		1	○			
		人体機能補助療法学	3前		2	○			
		人体機能補助実習	3後		1	○			○
	医用安全	医用機器安全管理学	3前	2		○			
		医用機器安全管理学実習	3前	1		○			○
		関係法規	3前	2		○			
	関連臨床医学	臨床医学総論（内科学・外科学）	3後	2		○	○		
		内科学各論（循環器・呼吸器・腎・感染症）	3後	2		○	○		
		外科学各論（循環器・呼吸器・泌尿器・麻酔・集中治療学）	3後	2		○	○		
		臨床医学演習	3後		1	○	○		
	臨床実	臨床実習	4前	4		○		○	○

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●臨床工学科の方針

臨床工学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（臨床工学）の学位が与えられます。これは臨床工学技士国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術
地域社会や医療現場等でのチームにおける臨床工学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で臨床工学技士としての知識力と技術力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力
チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができます。

③豊かな人間力
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力
臨床工学技士に相応しい高い専門性と研究能力を備え、健康に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年	単位数		履修方法及び卒業要件	D	D	D	D	
			必修	選択		P ①	P ②	P ③	P ④	
学科専門科目群	専門特講 臨床工学技術特	医用生体工学特講	4後	1	必修5単位	○				
		医用機器学特講	4後	1		○				
		生体機能代行技術特講	4後	1		○				
		関連臨床医学特講	4後	1		○				
		基礎工学特講	4後	1		○				
	研究分野 先進科学技術	先進科学技術論	3後	1	必修7単位＋選択4単位以上	○			○	
		先進計測技術学	3後	1		○			○	
		先進治療技術学	3後	1		○			○	
		機能評価分析学	3後	1		○			○	
		機能評価学演習	3後	1		○			○	
		医療情報システム学	3後	1		○			○	
		医療情報システム学演習	3後	1		○			○	
		医用ロボット工学	3後	1		○			○	
		遺伝子検査学	3後	1		○			○	
	先進科学技術演習	3後	1	○			○			
	研卒業	卒業研究Ⅰ	3週	2		○			○	
		卒業研究Ⅱ	4週	2		○			○	
	卒業要件単位数					124				